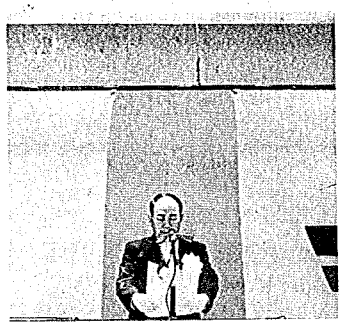
25周



市民憲章制定宣言を行う市長

〈市民憲章〉

新津市民として
―私のテーマ―

私は私たちの新津をこんなまちにしたい
自然に恵まれた緑のまち
老人と子供が大切にされる
あたたかいまち
文化のかおり高いおくゆか
しいまち
いつも健康で暮らせる清潔
なまち
いつどこでもスポーツが楽
しめる明るいまち
そのために私は
みんなと話し合い
工夫をこらし
力を合わせて
人間性豊かなふるさとをつく
りあげたいと思います

に市制25周年を祝う

今年は、新津市が生まれてからちょうど二十五周年目、市では去る四月十五日、市民の参加を求めた「記念式典」を市民会館で挙行し、市制二十五周年のよろこびを、六百人の参加者みんなでわかちあいました。

誓ったあしたの発展
喜こびの式典に六百人

四月十五日は、新津市の市制誕生から二十五周年目を祝った式典の日。昨日来の雨がうそのように、春の陽ざしがいっぱいでした。市民会館のメーンストリートは、たまたま〝緑化〟に一役かった植木市の開設で、みどりがうめつくし、会場へ急ぐ参加者たちの目を楽しませていました。

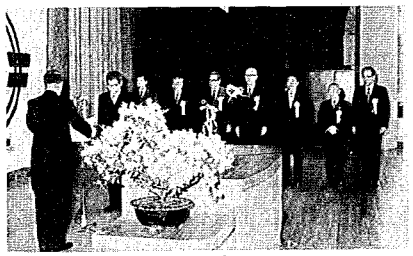
前日までにすっかり準備の整えられた式典会場には、産地新津市にふさわしいアザレアの花が、それこそぎっしりとステージを飾り、参加者席にもおみやげ苗木と、アザレアの甘いかおりはホールいっぱいにありました。

十時四十五分、記念式典の開式です。

あいさつに立った志田市長は「市制施行以来、市勢が日々進展を続けてまいりましたのも、先人、そして市民各位の力強いご労苦ご協力の賜もので…今後においても市勢発展に一層の努力をいたしたいと念じています」大きく成長した二十五周年のよろこびをこのように伝えました。

市議会議長のあいさつにつづいて、今日の発展に尽された八名の市政功労者各位には表彰状と記念品が贈られました。

永年、市政に尽された方たちの表彰をはじめ、この年を記念しての市民憲章の制定宣言、そして記念事業の概要披露など、式典では二十五周年を契機とした心豊かな明日の飛躍・発展を確認しあいました。



市政功労者として表彰を受けられたみなさん

お買物、ご用命は市内で

内科・小児科・レントゲン科
大坂医院
新町1丁目6-12 TEL(2)1731

全国ジンベット・チェーン店
寝具のデパート
ふとんの姥山屋
本町3丁目 ☎(代表) 2-0261

新津市の将来像
作文・論文 創造画 募集します

市制施行二十五周年を契機とした〝新しいまちづくり〟を考えるため、市では市民のみなさんから「あるべき新津市の将来像」を描く作文・論文・創造画を募集しています。

♡応募資格…小学生以上で新津市に住所のある人

♡作文・創造画のテーマ…わたしの夢(小・中学生が対象)

♡論文のテーマ…未来の新津(高校生・一般市民が対象)

♡募集期限…七月三十一日

♡応募先…市役所企画室(ただし作文・創造画の小・中学生は各学校で取りまとめます)

なおくわしくは、広報四月十五日号をごらんください。

晴れやか

600人余りの参加者で盛大に行われた式典

た。次いで市民憲章の制定宣言が行われ、また奨学金制度など、いくつかの記念事業の実施概要も披露されました。このあと、来賓を代表して三人のお客さまから祝辞をいただき、式典を終わりました。

引続き、新津市のぁゆみ「二十五年の点描」がスライドで紹介され、祝宴・アトラクションにうつりました。

式典への参加は、市民のだれからも気がねなく参加してもらおうとの配慮から、会費持ちよりでした。

祝宴が進むにつれて緊張さもほぐれ、参加者同士の〝交流の花〟は大きくふくらみました。またこの日、市内のキレイどころも卒先参加を申し出て、祝宴を盛りあげてくれました。

一方舞台では、大鹿地内に残る「ろかい節」、勇壮な「まつりばやし」、そして「新津松坂踊り」と、郷土の誇るアトラクションが次つぎと披露され、市民一体となった新津市の二十五周年を祝う行事は〝万才三唱〟で幕を閉じました。

市政功労者として
表彰を受けられたかたがた

行政功労者　故 布沢　皆七殿
行政功労者　故 石川彌太郎殿
農政功労者　石崎　文吾殿
農政功労者　栗原　祐一殿
農業基盤整備功労者　村山吉五郎殿
商工振興功労者　故 錦織　豊松殿
教育功労者　樋口三代基殿
体育功労者　故 今井　辰二殿

お買物、ご用命は市内で

コンコルドとは調和の意味です
＝一年間洋酒にフルーツと木の実を漬けてケーキに入れて焼きました＝
ケーキとコーヒーの店
にいつ ホーサカヤ
本町2 TEL (2) 0112
世界の紅茶
トワイニングを
お使い下さい